



体育祭  
～村高生の輝く笑顔～

校長 富川 麗子

6月2日(木)、府中市民陸上競技場において、第54回の体育祭が恵まれすぎるほどの天候の中、実施されました。本校の体育祭は実に4年ぶりの開催で、待ちに待った体育祭となりました。現在、学校のグラウンドは整備工事中のため前日の予行は体育館での実施となりました。

大会旗を掲げたFさんを先頭に、赤団・青団・黄団の各団長に続き全生徒が入場し、いよいよ開会式となりました。体育委員のWさんの開会宣言、校長挨拶、体育委員長挨拶と続き、体育委員のSさんによる選手宣誓がされました。その後、競技上の注意、美化委員会からの連絡、準備体操と行われました。



その後、午前の部、午後の部と競技が進められましたが、この競技場のトラックは、一周300m。全員リレーでは、一人150m走ることになります。これは、かなりハードなことですが、参加者全員が本当に頑張っていましたし、お互いが励ましあっている様子は、大変微笑ましいものでした。

閉会式では、100m、600m、1200mの個人の部の表彰、各種目の表彰、学年優勝、総合優勝の表彰が行われ、表彰された生徒が晴れ晴れした表情であるのはもちろんのこと、他の生徒たちが、お互いに温かな拍手を送っていました。

開会式においては、「競技は集団で仲間とともに行うもので、周囲への配慮、仲間への心遣いを忘れずに競技に力を発揮してほしいこと」。閉会式での講評においては、「晴」の舞台での頑張りを称えとともに、明日からの「曇(け)」(普段の授業や勉強)で、きちんと成果を出してほしいこと。そのためには、切り替え・けじめ・区切りをきちんとつけることが大切であること。そして、東村山の生徒の皆さんに、それができるようになってほしいと強く思っていることを伝えました。

大きな行事を一つ終えた村高生の「曇」における活躍を期待しています。

★HPでは「東村山折々」・「4月の東村山」で学校の様子を紹介しています。併せて御覧ください。